

第8回金沢大学附属病院医療安全管理監査委員会結果報告書

金沢大学附属病院医療安全管理業務監査委員会規程に基づき、監査を実施しましたので、以下の通り報告します。

監査方法

金沢大学附属病院の医療安全管理業務について、管理者及び医療安全業務関係者等から、説明聴取、資料閲覧及び院内ラウンドにより報告を求め、監査を実施しました。

日時：令和3年2月8日（月） 13:00～14:40

場所：金沢大学附属病院 外来診療棟4階会議室（オンライン方式併用）

監査項目

- 1) 医療安全管理委員会における課題等の検討状況について
- 2) 外部監査等における指摘事項への対応状況について

監査結果

1. 医療安全管理委員会における課題等への検討と対応状況について
 - 1) インシデント報告については、病床数に対して報告数がやや少ない傾向を認めるものの、医師への働きかけを含め多職種連携の意識づけに伴う報告の質の充実を目指すなど、適切に対応されていることを確認しました。
 - 2) 病院として取り組まれている身体抑制の少ない看護に関連して、議論に臨床倫理コンサルティングチームが関わるだけでなく、ヒヤリハット事例の報告を促すなどの方法で、医療安全の視点からも意識の向上を図るなど、適切に行われていることを確認しました。
 - 3) 重篤な疾患等による心肺停止状態で救急搬送された事例を含めた、院内で発生した死亡事例に関して、入院事例における剖検実施率が他の大学病院等と比較しても高いことは以前も指摘したが、外来事例においても積極的に死亡後画像診断（Ai）を行なって死因の究明に努めていることは、非常に評価できます。
 - 4) 画像診断レポートは2週間単位、病理診断レポートは1か月単位で確認状況を調査し、未読レポートに対してはその対応状況を毎週確認し、未読の場合には通知をすることで、2か月を超えて未読となっているレポートをなくす取り組みがされています。また、病理検査の実施数が多い一部の診療科に対しては、ドクターズクларクも活用すること

によってその業務負荷を軽減し、既読率を向上させる取り組みも行うなど、病理・画像診断レポートの確認不足を防ぐ取り組みが適切に行われていることを確認しました。

- 5) 医薬品の併用禁忌については電子的にチェックし、疑義照会を通して安全な使用に努めるとともに、医学的に問題なく使用可能と判断される場合においても、その使用状況を監視するなど、医薬品の適正使用に向けた取り組みが適切に行われていることを確認しました。
- 6) 医療の質の向上に向けた継続的な取り組みは、医療支援課が窓口となって医療安全管理委員会または患者サービス向上委員会で審議され、院内の 13 箇所に設置した「提案箱」に届いた意見は院内で情報を共有し、対応が必要な意見に対しては担当部門に通知するなど、医療の質の継続的な向上に向けた体制が整えられていることを確認しました。

2. 患者の自己決定に関する取り組み状況について

- 1) 患者に対する説明と同意の取得の実態を把握するために、化学療法、画像、内視鏡、輸血、放射線療法のカテゴリーごとの 70 人分の診療録を抽出し、9 つの評価項目について監査を行い、その結果について分析を行った結果、前年度と比べて改善が得られていることを確認しました。
- 2) 未成年者の手術同意について、年齢層を分けてその取り扱いを明確にして、説明を行う運用を開始したことを確認いたしました。また、小児に対する説明と告知については、患児の病状や実情に合わせて適切に対応がされていることを確認しました。なお、令和 4 年 4 月より民法における成人年齢が 18 歳に引き下げられることから、社会の趨勢を確認しつつ、対応を検討されたい。

3. AYA 世代に関する諸問題についての取り組み及び進捗状況について

- 1) AYA 世代のがん患者の増加に伴い、がん患者の妊孕性温存に関する研修会を開催し、がん患者の診療に携わる医療従事者の意識の向上に努めていることを確認しました。
- 2) 本院は今年度、造血幹細胞移植推進拠点病院に指定されたので、さらなる体制作りや専門性を持った人材など、適切な配置をお願いしたい。
- 3) 全国の都道府県の半数ほどでがん・生殖医療ネットワークが整備されていますが、石川県ではまだ整備されていません。建物や人員確保が課題となりますので、県全体で連携しながらイニシアティブをとって

進めていただきたい。

- 4) 上記の生殖医療の拠点となった場合に生じる安全対策は、倫理や法的にも関わってくるものが多く含まれており、医療的だけでなく社会的・一般的な視点からも安全管理について求められますので、患者にとって不適切または不具合が生じないように、安全対策にも理解を深めることをお願いしたい。

4. 次回の議題について

- ・ コロナ禍における医療安全管理の状況について。

総括

金沢大学附属病院における医療安全管理業務の状況について監査を行い、特定機能病院として高度な医療を提供するために必要な安全管理体制が構築されている事を確認いたしました。

引き続き、医療安全管理対策の徹底と維持に努めていただく様、お願いいたします。

令和3年3月15日

金沢大学医療安全管理業務監査委員会
委員長 長島 久